



茨 歯 会 報

No.573

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

January
2017
平成29年

1



Contents

年頭のごあいさつ	1
森永 和男	
年頭所感	3
堀 憲郎	
年頭のご挨拶	4
小舩 秀文	
会務	6
理事会報告	8
会務日誌	9
地域保健委員会だより	12
警察歯科協議会だより	19
専門学校だより	21
地区歯科医師会だより	24
柴沼 博之	
保坂 栄勇	
リレー通信	30
坂井 敏修	
レディースコーナー	32
田崎 泰子	
酉年登場	33
会員の異動	53
おめでとうございます	54
国保組合 NEWS	55
赤えんぴつ	56

表紙写真について

初日の出の名所で有名な、大洗磯前神社の日の出の写真です。
空が少しずつ明るくなり、海の中に立つ鳥居のむこうから日が昇っていくのは何とも言えませんでした。
先生方にとりまして、いい一年でありますように。

(社) 茨城県南歯科医師会 星野浩伸

年頭のごあいさつ



茨城県歯科医師会

会長 森 永 和 男

新年明けましておめでとうございます。

昨年は相変わらず、気候の変動が大きく、熊本県では大きな地震があり、熊本城はじめ広い範囲で被害があり、未だに完全な復旧が見られないと聞き及んでおります。心が痛む想いです。また、関東、東北地方でもあの東日本大震災の余震なのか、震度5強の地震がみられ、津波が起こっております。

世界の政治情勢においても気がかりであり、アメリカではトランプ旋風が起こり、想定外のアメリカ大統領となり、今年のフランス大統領選挙では極右派の台頭、韓国での混乱等、保護主義的方向に進むことによるEUの崩壊、またCOP21会議においてはアメリカの脱離宣言による温暖化対策の停滞となにかと日本にとっても不気味な存在となって来ております。

毎年新年になって考えることですが、私たちも医療の考えだけでなく世界に目を向け、自分の置かれている位置を見極めなければならないと感じております。

さて、私が茨城県歯科医師会会長をお引き受けしましてから、6年間が過ぎようとしております。先生方のご協力、ご指導があって無事3期目を全うすることができました。心から感謝申し上げます。

現在、茨城県歯科医師会が進めて参りました、各地区歯科医師会のご協力の下、各市町村との災害締結協定も44市町村の内櫻川市を残すのみとなりました。この櫻川市との締結もおかげさまで秒

読みの段階にはいり、今年度中には締結完了できると思います。これもひとえに会員の皆様のご協力と感謝しております。

締結完了間近とはいえ、この協定を有効に活用して、はじめて県民のためになることであり、今後2年間でしっかりとしたものにしていかなければなりません。また、この協定によって各市町村との関係がしっかり確立できれば、地域包括ケアシステムの基盤としても活用できると考えております。また、四師会との連携においても市町村単位になればスムーズに事が運ぶと思っております。まだ残念ながら医師会とのテリトリーが合致しておりませんので医師会にもお願いして市町村単位の地域包括ケアシステムの構築に努力して参りたいと思っております。

思えば私が会長をお引き受けしたときにはまだまだ歯科口腔の大切さが県民の中で理解されていませんでした。しかし、この2、3年は口腔内疾患、特に歯周病が全身疾患に影響し、生活習慣病、肺炎等に大に関係している事が理解されつつある事は喜ばしい事と考えております。このことをさらに発展させ県民に寄与していく事が茨城県歯科医師会の使命と痛感しております。この事が感覚的なものでなく、実際県民にとって目に見えるもの、実感できる運動としていかなければなりません。この観点から、今が歯科医療の転換期と会員の先生方が自覚し乗り遅れないように努力しなければなりません。ここで歯科医師自身が何をすべきかを真剣に考え、努めていくことが大事

であると考えます。この壁を乗り越える事ができれば、必ずや明るい未来が来ると確信しております。またこれを乗り越えるには茨城県歯科医師会の行動だけでは達成することはできません。四師会との更なる連携を深めなければなりません。

茨城県歯科医師会ではこの考えを踏まえて、身障者対策にも力を入れております。

口腔センター水戸においては一昨年から全身麻酔の導入を図り、順調に推移しております。口腔センター土浦も少し計画より遅れておりますが、来年度の着工を目指し、平成30年には開業できるよう現在努力しているところです。今までの不便さを解消し、立派な口腔センター土浦の完成を目指しております。これが完成した暁には完全とはいかないかもしれませんが、全県下を網羅するこ

とができ、身障者対策が一步前進すると確信しております。

先生方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

これからは身障者対策、生活習慣病対策、肺炎対策、認知症対策と生活を支える医療を柱に県民の健康に寄与していく所存であります。

今年はイメージを一新し、希望に満ちた歯科医師、ステータスな歯科医師達成を目指して頑張っ

て参りたいと考えております
今年も是非、先生方のご支援、ご協力を切に願

いいたしまして年頭のあいさついたします。



年頭所感



日本歯科医師会
会長 堀 憲郎

明けましておめでとうございます。全国の会員の皆様、また歯科関係者の皆様が、健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、約10カ月前の昨年3月に新しい執行部が出帆いたしました。混乱の中で多くの政策課題を背負っての船出であり、休む間もなく10カ月が過ぎて新年を迎えたと振り返ります。全国の皆様の力強いご支援に支えられて、課題への取り組みは当初の予想を超えて進んでいると実感しています。

国において「伸び続ける医療費をどうするか」という議論が生ずる中、歯科の概算医療費だけは平成14年から8年間で570億円減少するという危機的状況がありましたが、直近の平成23年度から27年度までの5年間では一度もマイナストrendに転じず、2400億円増加しました。数字的には極めて僅かですが極めて緩やかな伸びであり、今の国の財政状況の厳しさを見ると、再びマイナストrendに転じる懸念もありますが、過去10年にわたり、歯科界が危機意識を共有し、一丸となって内外に発信してきた歯科医療の有用性、重要性がようやく理解されつつある結果と認識します。僅かではありますが、この兆しをさらに増幅し安定させ、次世代に引き継ぐことが我々の世代の責任と位置づけて、執行部発足以来、対応を進めてきたところです。

執行部発足当初に掲げていた政策課題は「地域へシフトする医療政策への対応」「超高齢社会における歯科医療の位置づけ」「歯科界全体の活性化」等が主たるものでしたが、これらの実行のための具体的な課題を28項目にまとめ、執行部の総力を挙げて

取り組んで参りました。具体的な課題としては、公益社団法人としての在り方に関わる「倫理規程等の整備」、長寿社会の疾病構造をカバーする「歯科の新しい病名の検討」、「歯科活性化会議の設置」、「平成30年度の同時改定への対応」等があり、すでに28課題の中で、所期の目的を達成した課題が5つ、新たに追加した課題が5つとなっています。改めてハードルの高さを再認識した議論も少なからずありますが、然るべき時期に、しっかりと再整理をして次のステップへ歩みを進めたいと思っています。

28の課題を含め、やるべきことは数多くあり、限られた時間とマンパワーで、どこまで効率良く事業展開できるかが大きなポイントになります。本年も昨年に引き続き、取り組むべき課題を明確に整理し、「誰が」「いつまでに」「どのような方法で」実施するのかを明らかにし、日歯、都道府県歯会そして会員の皆様、関係団体の皆様が目標を共有しつつ、スクラムを組んで前進する明るい年になるよう精一杯努力いたします。

現執行部を承認いただいた昨年3月の代議員会でお示しした決意の中で、「医療提供者の一員として常に大義と誇りを持って振る舞い、全ての歯科医療に従事する方々が胸を張って仕事ができる環境づくりを目指して責任を果たす強い歯科医師会をつくりたい」と申し上げました。ただ単に歯科のことだけを語る組織ではなく、常に国民、患者の健康と生活を守るという立場で、社会保障と医療全体を論じる組織を目指すとの思いを胸に、本年も着実に力強く前進して参ります。



年頭のご挨拶

茨城県歯科医師国民健康保険組合

理事長 小船 秀文

新年あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

日頃より組合の事業運営にはご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

全ての国保組合は、厚生労働省より組合員資格の管理（2～3年に1回の定期的な確認）をするよう指導されております。前回の実施より3年が経過いたしましたので、今年度は6月から「組合員の資格確認調査」を実施させていただきました。この調査は、全組合員からの回答を要する国保組合の存続に係わる極めて重要な調査になります。組合員のみなさまには調査の趣旨へのご理解、ご協力に厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会保障や国保組合をめぐる環境、医療保険制度は変革の時期にあります。正にその始まりの年となりました。

急速な少子高齢化と医療費の高騰など大きな環境変化に直面しているなか、一昨年5月に成立した「プログラム法」により、組合にとりまして最大の課題でありました国庫補助は、「組合員の所得水準に応じた補助率」に見直され、28年度から5年間かけて段階的に削減されることになりました。当組合は、5年後の32年度には従来の32%が18%になります。

このような状況から当組合では平成28年度、補助金の削減による財源不足に対応して中長期的展望に立ち、14年ぶりに「保険料（医療保険分）」の引き上げを行いました。

厚生労働省発表の平成27年度の医療費総額は41兆5千億円。前年度より1兆5千億円増加し、伸び率も3%台と5年ぶりの高い水準となりました。高齢化の進展のほか、ガンの治療薬でありますオプジーボ等の高額薬剤が昨年より保険適用となったことが影響している…と、云われております。そのオプジーボは薬価が引き下げられることにはなりましたが、バイオ薬品など他にも高額な医薬品があり、医療保険者である国保組合にとりましては、今後の財政への影響が大変懸念される場所です。

ご案内のとおり平成27年10月5日にマイナンバー法が施行され、28年1月よりマイナンバーの利用が始まりました。

国保組合は番号法に基づき、「個人番号利用事務実施者」として国保事務に関してマイナンバーを扱うことになりましたが、今年7月以降は、地方公共団体、医療保険者等との情報連携が予定されております。なおセキュリティに関しましては、管理体制等を万全に整えておりますのでご理解ご協力をお願いいたします。

現在、当組合は平成29年度の事業計画・予算編成をおこなっているところですが、事業の柱の一つであります保健事業計画につきまして、既存事業（健康家庭表彰・脳ドック）内容の一部見直しのほか、「ガン検診」については新たな検査項目を増やす案を作成中です。

「平成29年度保健事業案内」は4月初旬の送付予定ですが、特定健診受診時オプショナル検診の追

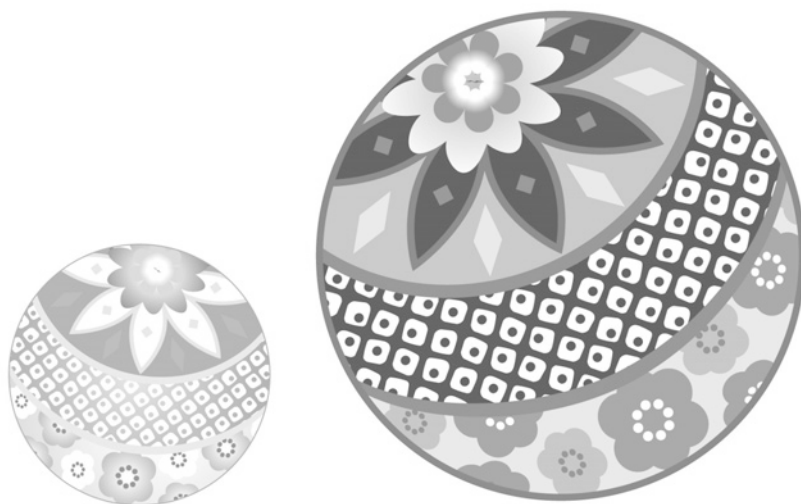
加項目として「腫瘍マーカーの検査」の実施を予定しております。

来年度以降はさらに財政のバランスと事業の優先順位を検討の上、みなさま一人ひとりの予防・健康づくりを進めるべく、保険者機能の充実を図って参りたいと考えております。

今後、国保組合への国庫補助率削減から生じる

諸問題に加えて、マイナンバー制度の導入に伴う国保組合への影響の対応等と、問題は山積ではありますが、組合員のみなさまのご協力のもと、健全な組合運営に努めてまいります。

念頭にあたりみなさまのご健康とご多幸をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。



会務

第162回茨城県歯科医師会臨時代議員会あいさつ

茨城県歯科医師会 会長 森永 和男

本日は大変お忙しいところ、第162回茨城県歯科医師会臨時代議員会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。今期最後の代議員会となりますがこれまでのご協力、ご支援に対し心より感謝申し上げます。

さて、前回の代議員会でも申し上げた通り、日本を取り巻く環境は厳しくなりつつあります。グローバル化の波に追いつこうと懸命ですが、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ旋風そしてフランス選挙における極右勢力の台頭といつの間にか世界の流れが保護主義に変化しつつあるような気がいたします。しかし、日本においては安保法、TPPの問題がいとも簡単に国会を通過しております。はたして国民がどれだけ理解しているか疑問であります。このままでは国民皆保険は聖域と言いつついつのまにか形骸化してしまうのではないかと心配でなりません。今年の衆議院議員選挙は見送られましたが来年はあるのではないかと考えられます。この中で総医療費が今後50兆円とも言われておりますが、この金額が多いか少ないかは別として、国民の考えとして、国家予算の半分を占めることは決して良い感情は持たないと思います。この感情が選挙等で火がつき、マスコミで炎上することを恐れております。

今こそ、医師会、歯科医師会、薬剤師会を含めて医療費のあり方、国民皆保険のあり方を真剣に考えなければならないと感じております。すなわち医師、歯科医師、薬剤師が国民に大いに寄与し

ているという自負と、国民の医療に対する信頼の度合いとのギャップを今、しっかりと認識しなければならない時期と考えます。茨城県歯科医師会もこれに向けての県民への発信が必要と考えております。

来年度から医療計画も第7次に入ろうとしております。この時こそ茨城県歯科医師会として「自分の健康は自分で守る」という自助の考えを訴えていこうと考えております。すなわち生活を支える医療、こころの医療にできるだけシフトする事に努力していく考えです。幸い、日本歯科医師会も堀会長になっていくらか落ち着きを取り戻しつつあると感じておりますので、三層構造をしっかりと立て直し、地域での歯科の存在、ステータスを高める時と考えております。今は堀会長をしっかりと支え、邁進していきたいと考えております。このことは会員一人一人の支えがなければ達成できないと考えております。先生方のご協力をよろしくお願いいたします。

私も茨城県歯科医師会を預かって3期6年が終わろうとしております。この間に7つのスローガンの達成を目指して努力をして参りましたが、機構改革を含めて、ある程度達成しつつあると考えております。

ただ、今年度中に達成しようと努力している口腔センター土浦の移転開業については土浦市との話し合い、基金の問題等、今年度中に解決しなければならない事項がありますが、残念ながら次年

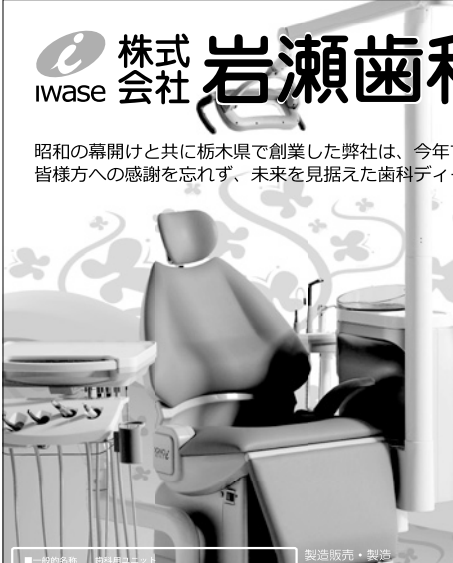
度に繰り越さなければならない状況にあります。
現在の高齢化社会を考えたとき、身体障害児、者
対策は喫緊に課題になっております。どうしても
口腔センター土浦を水戸並みに格上げし、県民の
幸せに寄与しなければなりません。現在の進捗状
況は後ほどお話があらうかと思いますが、ある程

度の骨子は本日の茨城県歯科医師会臨時代議員会
でご承認頂きたいと考えております。

できるだけ努力をし、県民の理解を深めて参
りたいと思っておりますので今後ともご理解、ご
協力をお願いいたしましてあいさついたします。



株式会社 岩瀬歯科商会



昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で 90 年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット

SIGNO

NEXT

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。

■ 業種名称 歯科器具・ユニット
■ 所在地 栃木県宇都宮市
■ 備品・設備 クラス H1 特定保守管理医療機器
■ 医療機器保証番号 2221AK000000000000
■ 特定製造元 伊勢工業

製造販売・製造
株式会社モリタ東京製作所
本社 栃木県宇都宮市中央区上落合 2-11-24 TEL: 048-652-1315
伊勢工場 埼玉県北見市立郡伊勢町小室 7129 TEL: 048-723-2621

発売
株式会社モリタ
大阪本社 大阪府吹田市豊水 3-33-18 TEL: 06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野 2-11-15 TEL: 03-3834-6161

事業所案内

本 社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

理事会報告

第9回理事会

日 時 平成28年12月15日（木）午後2時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報 告

監査報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 平成28年度県南歯科医師会補助金に対する報告書について
- (3) 12月開業予定の歯科医院について
- (4) 疾病共済金の支払いについて
鹿行地区 1名 15日
- (5) 各委員会報告について
厚生委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 入会申込書の受理について
竹内 絢子氏（県南地区）の入会を受理した。
- (2) 補助金申請について
 - ① 女性歯科医会補助金申請について
標記補助金申請について、再協議することとした。
 - ② 関東女性歯科医師の会開催、事業費補助申請について
標記事業費補助申請について、承認した。
- (3) 茨城県歯科医師会会費免除申請について
標記会費免除申請について、日本歯科医師会と同様に却下することとした。
- (4) 「第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会」の後援依頼について（県立医療大学）
標記後援依頼について承認した。
- (5) 平成29年地区新年会の役員派遣について

日立：森永、珂北：黒澤、水戸：森永、東西：小鹿、鹿行：森永、県南：征矢、土浦石岡：色川、千葉、つくば：小鹿、県西：小林、西南：小林（敬称略）

標記役員派遣について、出席者を選定した。

- (6) 平成29年度委員会事業計画及び事業予算（案）について
標記について承認した。
- (7) 第162回臨時代議員会について
標記代議員会について内容を確認した。
- (8) 第2回地区会長協議会について
標記協議会について報告及び協議事項に関して承認した。
- (9) 平成29年度障害児・者歯科研修会ベーシックコースについて
受講者が少ない場合は研修会の延期やテキスト代の削減に努めることとした。
- (10) H28年度第2回関東地区大規模災害対策検討会議について
標記検討会議について承認した。
- (11) いばらきスポーツデンティスト養成講習会の開催について
標記講習会の開催について承認した。
- (12) 茨城県歯科医師会健康フォーラム 開催案について
講演会名を「口からはじまる健康長寿」に決定することで承認した。
- (13) 市民公開講座後援依頼について（日立）
標記後援依頼について承認した。
- (14) 乳幼児におけるCOの扱いに関するアンケート調査について
標記アンケート調査について継続して審議することとした。

会務日誌

- 12月15日 未就業歯科衛生士復職支援のための講習会を境町「親和歯科医院」にて開催。シャープニング、キュレットタージ、超音波スケーラーの実習と質疑応答を行った後、希望者に対して就職相談を実施した。
- 受講者 3名
- 12月15日 第3回業務・会計監査を執行。業務（9月1日～11月30日）、会計（平成28年度現況）について監査を実施した。
- 出席者 鈴木監事ほか7名
- 12月15日 第2回議事運営特別委員会を開催。第162回臨時代議員会日程、タイムスケジュール、事前質問の取扱い、再質問・関連質問の取扱い、質疑応答（すべての場合において）の方法、傍聴について協議を行った。
- 出席者 萩原議事運営副委員長ほか12名
- 12月15日 第9回理事会を開催。入会申込書の受理、補助金申請、茨城県歯科医師会会費免除申請、「第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会」の後援依頼、平成29年地区新年会の役員派遣、平成29年度委員会事業計画及び事業予算（案）、第162回臨時代議員会、第2回地区会長協議会、平成29年度障害児・者歯科研修会ベーシックコース、H28年度第2回関東地区大規模災害対策検討会議、いばらきスポーツデンティスト養成講習会の開催、茨城県歯科医師会健康フォーラム開催案、市民公開講座後援依頼、乳幼児におけるCOの扱いに関するアンケート調査について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか19名
- 12月15日 第8回広報委員会を開催。会報12月号の校正、会報1月号の編集、県民向けHP掲載用記事の作成について協議を行った。
- 出席者 小林広報委員長ほか3名
- 12月15日 第2回地区会長協議会を開催。平成28年度シニア共済収支現況、会費・負担金等未納状況、歯科特殊健康診断、フッ化物応用推進事業、地域包括ケアシステムの活動状況、歯科衛生士復職支援講習会の地区開催の協力依頼、口腔センター土浦移転整備、平成31年茨城国体開催に向けた取り組み、提出議題・要望等について協議を行った。
- 出席者 間宮日立歯科医師会会長ほか27名
- 12月18日 茨城県警察歯科協議会・個人識別実習を開催。警察歯科医・海上保安歯科医と県警鑑識課・海保担当者の合同により口腔内所見採取とデンタルチャート作成の個人識別実習を行った。
- 受講者 89名
- 12月18日 警察歯科協議会を開催。平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画案・予算案についての報告を行った。

- 出席者 小鹿警察歯科協議会副委員長ほか33名
寺門県警本部刑事部長ほか4名、川口茨城海上保安部次長ほか3名
- 12月18日 県立医療大学付属病院開院20周年記念式典が県立医療大学にて開催された。
出席者 森永会長
- 12月22日 第162回臨時時代議員会を開催。益社団法人茨城県歯科医師会定款施行規則の一部を改正する規則案に関する件について議事を執り行った。
出席者 小澤代議員議長ほか58名
- 12月22日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。要介護者の口腔ケアガイドブック作成について協議を行った。
出席者 黒澤副会長ほか5名
- 12月26日 県食育支援連絡会が水戸合同庁舎にて開催され、若い世代の食育推進事業ほかについて協議が行われた。
出席者 藤田
- 1月6日 新春の幕開けを祝う茨城新聞社主催「千鳥会」が水戸プラザホテルにて開かれた。
出席者 森永会長
- 1月11日 「明日の茨城づくり新春の集い」が水戸プラザホテルにて行われた。
出席者 森永会長
- 1月11日 県要保護児童対策地域協議会保健・医療部会が県庁舎にて開催され、本県における要保護児童対策の現状ほかについて協議が行われた。
出席者 小林常務
- 1月12日 厚生労働省並びに関東信越厚生局および茨城県による共同指導が、2日間にわたり厚生局茨城事務所に実施された。
対象医療機関 4
- 1月13日 茨城県警察視閲式が県警察学校にて行われ、交通機動隊白バイ操輪訓練等のアトラクション、部隊行進等のデモンストレーションが行われた。
出席者 森永会長
- 1月13日 内外情勢調査会1月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 1月13日 県医師会の新年賀詞交歓会が水戸プラザホテルにて行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 1月14日 県栄養士会の法人設立三十周年記念講演会・祝賀会がホテルレイクビュー水戸にて開催された。
出席者 森永会長
- 1月16日 8020・6424運動推進部会が県立健康プラザにて開催され、歯科疾患実態調査ほかについての報告が行われた。
出席者 森永会長ほか2名
- 1月18日 県地域・職域連携推進協議会が県立健康プラザにて開催され、特定健康診査・特定保健指

導の取り組みほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

1月18日 第10回社会保険委員会を北茨城市内にて開催。疑義、合同協議会について協議を行った。

出席者 榑社会保険部長ほか15名

「禁煙支援研修会・生活習慣病歯科対策研修会」報告

第1部 禁煙支援研修会

「すぐそこに煙の消えた世界が見える」

医療法人光潤会 平間病院 院長

(無煙世代を育てる会 代表)平間 敬文 先生

地域保健委員会 柴崎 崇

平成28年12月1日(木)、筑西市の県西生涯学習センターにおきまして、上記研修会が開催されました。当日は、小講座室がほぼ満員となる47名の参加がありました。はじめに茨城県歯科医師会森永会長から挨拶をいただきました。

第1部は、平間先生からご講演をいただき、参加者は皆、熱心に耳を傾けていました。タバコによる健康への影響については十分認識しているつもりでしたが、まだまだ知らなかったことや誤解していたことなど数多くあり、あらためてタバコの怖さについて考えさせられる講演でした。



平間敬文先生

1. 近年の動向

最近5年くらいで大きな変化が表れている。とくに学校においては、禁煙指導の必要性が減少し解決の方向に向かっている。その要因としては、①学校敷地内禁煙 ②タバコの百円値上げ ③スマホの普及（スマホが増えるとタバコが減る）④非行グループ（タバコつながり）の減少、などが考えられる。未成年者の喫煙が減ってきたため、JTの販売戦略は女性、とくに30～40代のお母さん世代にターゲットを移行してきている。

2. 生活習慣病の危険因子

高血圧、糖尿病、コレステロール、メタボ（厚労省だけが言っている）などよりもタバコが最も大きな危険因子である。そのことは生命保険料の差にも表れている。非喫煙者は喫煙者の20～50%減額される（アメリカではさらにその差が大きい）。しかし厚労省はタバコの影響を（意図的に）食事、運動、ストレスなどに次ぐ3～4番目くらいに位置付けている。本来、適切な対策としては、1に禁煙、2に食事、3に運動～最後に薬、である。

3. 日本はタバコ天国

受動喫煙のリスクについて学問的論争は終わり、すでに実証されているにもかかわらず、JTは

いまだにその事実から目を背け、誤った情報を流し続け、売り上げを伸ばそうとしている。受動喫煙に対する規制がないのは世界中調べても日本と北朝鮮、アフリカの一部くらいしかない。しかしその事実は国民にはほとんど知らされていない（メディアコントロールは政府・官僚の常套手段）。

ちなみに、フィンランドではタバコを「減らす」から「無くす」ヘシフト、2040年までにタバコ0を掲げている。

4. 官僚の最大・最後の利権

諸外国との差はどこで生まれるか？政府の方針とも見えるが実際は官僚主導、最も大きいのが財務省をはじめとする官僚の利権の構図である。

「貿易摩擦の緩和」、「外圧の影響」、そして「財界との癒着」。その結果、国際情報は遮断され国民は無知のまま置き去りにされる。つまり国民の健康や命を犠牲にしても、経済重視及びアメリカへの忠誠ということか。ここにも官報複合体と言われる日本の権力構造の病根が垣間見える。→筆者注：つまり原発の問題と同じ構図か。

5. タバコは嗜好品？

タバコはコーヒー・紅茶と同様の嗜好品だとする見方があるが、はたしてそうなのか？タバコには250種の有害物質、60種の発ガン性物質が含まれている。そんな嗜好品はあり得ない。タバコの成分のうち新しいタバコの葉は約半分で、あとは再構成タバコ（古いタバコの再利用）の他、200種類とも言われる添加物から成り、内容物についての規制はなく、野放し状態。

6. 死因として認識されない

タバコが寿命を縮めることはもはや異論のないところで、喫煙者の約50%が70歳の壁を越えられないと言われる。しかしタバコが直接の死因と認識されることはない。タバコによって急には死なない。ゆっくり殺す。直接の死因はガンだったり、脳卒中だったり、心筋梗塞だったりするので、タバコが犯人とは特定されない。罪悪感が少

ない分、麻薬よりも厄介だったりする。→筆者注：つまり未必の故意（うまくすれば殺せる、殺意の証明が困難）による殺人者のようなものか。

7. 強い依存性

ニコチンによって引き起こされた脳の構造的変化は、回復することはあっても絶対に治癒することはない。禁煙することはできるが、ニコチンがないと脳が正常に機能しなくなっているため、再発しやすく強い依存性がある。依存性の強さは、

ヘロイン > コカイン ≧ ニコチン > アンフェタミン > 大麻 > MDMA

No.3のドラッグと言われる。たとえ「やめさせる」ことはできても、「やめさせ続ける」ことがとても難しい。

8. こんな健康被害も

放射線の空間線量 → ホコリと一緒に舞い上がり、健康な人は吐き出せるが、喫煙者は吐き出せないため内部被曝につながる。

歯科領域 → メラノーシス、歯周病（歯肉炎）、口臭 etc.

女性には妊娠しにくくなる。喫煙者の母親から産まれた子供は、脳の発育に影響を受ける。暴力的になる。ちなみに、宣伝されているような「軽いタバコ（女性向け）」なんてものは無い。紙の途中に空気穴を開け、煙の濃度を調節しているだけ。

9. 受動喫煙（副流煙）の被害性

直接吸い込むよりももちろん量は少ない。しかし喫煙者はある程度慣れ（耐性）があるが、非喫煙者は敏感で感受性・代謝系が違う。血液にあつという間に取り込まれ、血液をドロドロにする。そして血栓を作る。

受動喫煙によりガンになるリスクは、日本では4倍とされている。しかし世界では18倍以下の数値は見当たらない。日本のデータは異常に低すぎる。その理由として、タバコの煙が蔓延している日本では、まったく煙0の人（コントロール）はほばいないため、比較試験ができない事情がある。

10. その他、こんな情報も

成人男性に売れなくなってきたため、女性や子供をターゲットにしてきている。一度中毒にしてしまえば、依存性があるため宣伝いらずで、ずっと売れ続ける。

タバコの原価はわずか3円くらい。半分くらい税金を掛けられてもめちゃめちゃ儲かる。だから利権の温床となる。

「タバコがストレス解消法」は間違った認識。タバコによる禁断症状から抜け出るための方法ではない。ストレスと中毒症状を混同している。

受動喫煙の健康被害、ガンのリスクについて、世界中でJTだけがいまだに認めない。すでに実証されたデータについてまで無理やり反論してくる。

【平間先生の結論】

喫煙者への気配りはもう必要ない。

人類とタバコは共存しない。

「タバコは悪だ！」とハッキリ言っている。

JT、財務官僚と戦っていく決意である。

【謝辞】

平間先生の講演後、地域保健委員会：渡辺進常務理事より謝辞が述べられ、茨城県歯科医師会における禁煙支援の取り組み（禁煙支援相談歯科医院）についての説明があり、講演会終了となりました。

【参考】

禁煙へ：きっかけの一言集（平間先生の資料より）

- ①もうタバコって時代じゃないよね。そろそろ考えたら。

- ②顔色悪いねえ、タバコのせいかな。吸う人の半分は70歳までに亡くなるんだ。早死は家族にも残酷だよ。特に女性は早く老けちゃう。

- ③タバコを1時間ごとに吸わなかったら落ち着いて生活できないなんて、考えたら異常じゃない？

- ④あなたはもともとタバコなんか吸っていなかったんだよね。だまされて中毒にされただけ。なんとか抜け出すことを考えようよ。

- ⑤タバコには「やめどき」ってものがある、あまり年いってからだとダメ。禁煙にも旬というものがある。

- ⑥タバコを楽しんでいるわけじゃなくて、禁断症状を抑えて楽になっただけさ。

- ⑦子供に残せる最大の財産は「タバコを吸わない」という習慣だと言われている。

- ⑧「タバコは先っぽに火、吸い口にバカがついてる」「今日も元気だタバコが旨い、明日は急ごう癌センター」なんちゃって・・・。

【最後に・・・】

「煙の消えた世界」の実現はそう遠くない未来かもしれません。そう感じさせる講演会でした。国民の健康に寄与する重責を担うべき我々歯科医師としても、さらに積極的に関わって行く姿勢が求められていると思います。人間関係を気にしてなかなかNOと言えない人が多いと思います。自分もそうでした。しかし相手のこと、周囲のこと、未来のことを考えると、一時の気まずさを恐れずハッキリNOと言える勇気が必要だと思いました。

イマジン「想像してごらん、煙のない世界を」
(了)

第2部 生活習慣病歯科対策研修会 「歯周病と全身疾患をどう理解するか」 日本大学特任教授 落合 邦康 先生

地域保健委員会 長谷川 弘道

第2部は、上記の演題で、日本大学特任教授落合先生に講演いただきました。

落合先生は、口腔内細菌が引き起す、様々な全身への影響を免疫の立場から解りやすく説明されました。



落合邦康先生

「歯周病患者はなぜ痛がらない」こんな質問から、講演は始まりました。それはなぜ？

1. 慢性疾患だから（炎症はいきなり慢性化しません）
2. 歯髄炎と違い開放性だから（歯根膜は紙1枚の厚さも感知できるのでは？）
3. 考えたことがない（私はこれでした）

歯周病に侵された軟組織には、その人の手のひらほどの大きさの化膿病巣があるといわれています。それがもし体のあちこちにあったなら、痛くてしょうがない。ではなぜ、歯周組織では痛くないのでしょうか。

実験で、神経細胞の神経突起に、歯周病菌の産生する酪酸をかけると、この神経突起が

丸まってしまい、神経網を寸断してしまうことが解っている。歯周病菌に侵された組織の神経細胞の痛覚は、リンパ球を呼び防御しようとするが、歯周病菌は嫌気性菌で、発育が遅く、とても弱い。だが、その神経細胞の伝達を阻害してしまうことで歯周病菌は身を守り繁殖していく。ゆえに歯周病は痛まずに進行していく。というのが、落合先生の考えでした。

その歯周病菌が原因、あるいは助長すると考えられる疾患として次の様なものがあります。

1. 誤嚥性肺炎
2. 菌血症
3. 血管障害（虚血性心疾患、虚血性脳血管疾患、動脈硬化性疾患）

血管内壁について、血栓を作り血行障害を起こす

4. 糖尿病

歯周病菌の産生する炎症性サイトカイン

常在細菌と生体との共存

共生細菌叢を無視してヒトの健康は維持できない。また、病気も共生細菌叢が深く関わっている。



N. Microbiology, Nihon University, School of Dentistry

(TNF- α) がインシュリンの働きを阻害する

5. HIV

歯周病菌の産生する酪酸と炎症性サイトカインが、HIVウイルスを活性化する

6. 癌

深いポケットや唾液腺に多く検出されるEBウイルスの増殖が、関与しているらしい

7. インフルエンザ

口腔内細菌の産生物がタミフル、リレンザの薬効を抑制してしまう

8. アルツハイマー型認知症

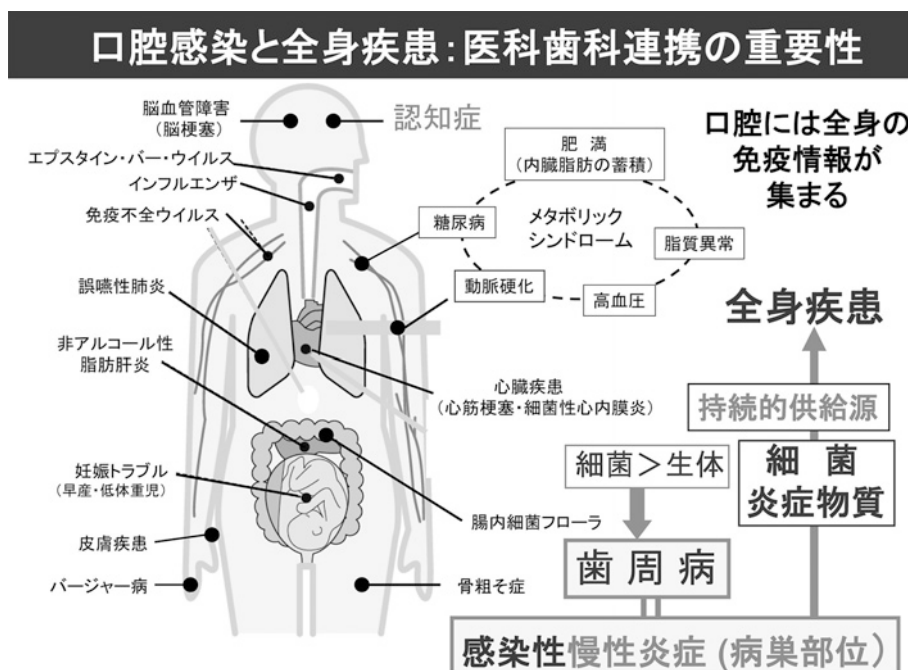
前述のTNF- α が海馬を委縮させる (アミロイド β 説)

等々。

『歯科医師はこれらの全身疾患の診断も治療も出来ません。そのため、歯科医は口の中のことしか考えず、虫歯のことだけやってきました。しかしさまざまな研究結果から、「血液を介して口腔の情報は全身に伝わり、全身の情報は口腔に伝わる」ことが免疫学的に証明されている。このこと

から、全ての歯科医療従事者が口腔のみならず、口腔を取り巻く環境、つまり、全身の生理機能や加齢変化、そして、免疫などさまざまな関連領域における専門性の高い基礎知識を持つことを必要とされています。また、歯科医療従事者には、口腔保健を通して、全身の健康維持・増進に寄与していく「自負と自覚」がより一層求められます』とのお言葉に、身が引き締まる思いでした。

歯周病の治療は、複雑な因子が絡み合い、長期化することも多いが、歯科医師、歯科衛生士が行っている歯周治療や、患者さんご自身で行う口腔内清掃が、口腔内の歯周病菌の絶対数を減らし、引いては、前述の疾患の症状改善、予防に繋がるということをよく説明し、理解していただければ、患者さんの健康寿命を延ばし、歯科の受診率もどんどん上昇するに違いありません。歯科の未来は明るい？



「第37回 全国歯科保健大会」報告

地域保健委員会 北見 英理

平成28年12月10日（土）、沖縄コンベンションセンターにおいて、『2040年健康長寿世界一をめざして～みなおそう沖縄の食文化～』のテーマのもと、第37回全国歯科保健大会が開催されました。本会からは、森永和男歯科医師会長、渡辺進常務理事、藤田かおりコーディネーターと北見が出席しました。



冒頭の挨拶では、比嘉良喬大会実行委員長（沖縄県歯科医師会長）が、「長寿の邦であった沖縄県は、平均寿命が「330ショック」と言われるように女性3位・男性30位と転落してしまいました。戦後の激変した社会環境により広がったファーストフードや、車社会により歩くことが極端に減少したことなどにより、メタボリックシンドロームの比率が全国でも上位にランクされています。

今年度は、「2040年健康長寿世界一をめざして～みなおそう沖縄の食文化～」をテーマに開催します。乳幼児から生涯にわたって生きる力の根底にある食の力を考えることで「食する・生きる力を支える」歯科医療の立場から、長年にわたり「食」に取り組んでこられたシンポジストを迎え、健康長寿復活にむけて沖縄から「食の大切さ」を改めて提言をしていきたいと思ひます。

シンポジウムは、「食はクスイムン（薬）みなおそう沖縄の食文化」をテーマに行います。服部幸應先生・尚弘子先生・古謝景春先生・伊志嶺勲先生に、各々の立場からお話しいただき、ディスカッションを交え、これからの健康長寿復活にむけて、提言を頂き、今後の取り組みの礎になると考えます。

沖縄県は日本と東アジアの中間に位置しており、超高齢社会の問題に取り組まざるを得ない地域として注目されています。今回の大会の趣旨がその解決に向けてのフロントランナーとして発信できれば幸いです。

「2040年健康長寿世界一をめざして」、介護を必要としない、人間の尊厳を最後まで持てるような健康寿命延伸の大切さを今一度声を上げていきます。

最後に歯科保健事業の推進及び歯科保健衛生の普及向上に多大な功績を挙げられた個人及び団体の被表彰者の皆様には、敬意と感謝の意を表します。

全国各地から多くの皆様に参加を賜り、是非沖縄の食文化を堪能していただきますようお願いを申し上げます」と述べられました。そして、塩崎恭久厚生労働大臣（代理）、堀憲郎日本歯科医師会長、翁長雄志沖縄県知事（代理）、佐喜真淳宜野湾市長と挨拶が続きました。

歯科保健事業功労者表彰では、厚生労働大臣表彰（多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のために著しい功績のあった個人および団体の表彰）個人56名と5団体、日本歯科医師会会長表彰（地域社会の歯科保健衛生の普及向上、改善および意識高揚等、実践活動に

著しい功績のあった者、きわめて困難な条件の下で献身精励し、顕著な功績があった個人および団体の表彰)個人43名と2団体に対し、表彰が行われました。茨城県歯科医師会からは、中島利雄先生(渡辺先生が代理出席)が厚生労働大臣表彰、森永和男先生が日本歯科医師会会長表彰を受けられました。お二人の先生方、本当におめでとうございます。

続いて行われた、平成28年度親と子のよい歯のコンクール表彰では、全国審査で優秀賞に選ばれた6組12名の親子が表彰されました。本県代表の近梓・瑛斗様親子は、残念ながら入賞することはできませんでした。

次に、シンポジウムが行われ、4人のシンポジストが各々の立場から講演されました。学校法人服部学園理事長・医学博士の服部幸應氏は「食習慣をかえましょうー料理のもつ力についてー」、琉球大学名誉教授・農学博士の尚弘子氏は「健康長寿に向けての沖縄の食材と料理について」、行政の立場から南城市長の古謝景春氏は「日本一元気で魅力あるまちづくり」、生産者の立場から株式会社アメニティ代表取締役社長の伊志嶺勲氏は「食を通して、心身ともに健康で豊かな社会を作る」について話されました。続いて、比嘉良喬沖縄県歯科医師会会長がコーディネーターを務め、健康長寿復活にむけての活発なディスカッションが行われました。

最後に大会宣言(日本歯科医師会高野直久常務理事)を採択、次回開催地富山県 山崎安仁歯科医師会会長に大会旗を引継ぎ、第37回全国歯科保健大会は閉会となりました。





平成28年度茨城県警察歯科協議会および 個人識別（身元確認）実習に参加して

（主催：茨城県警察歯科協議会）

防災危機管理運営小委員会 櫻川 次郎

日時：平成28年12月18日（日）

個人識別実習 10：00～12：00

協議会 12：15～13：15

場所：茨城県歯科医師会館 3階 講堂



去る12月18日（日）に今年度の警察歯科協議会が県歯科医師会館にて行われました。

今年度は、昨年までの講演中心の協議会とは趣を変え、なるべく参加した先生方（特に一度も個人識別を行ったことない先生方）が実際の現場で戸惑わないよう、実習中心で行われました。

今回は防災危機管理小委員会の大澤委員長から、指導の方での参加を申し付けられました。講義の中でも、「レントゲン撮影法」を任されるなど私には少し重責かとも思いましたが、実は前々からある＜勘違い＞が気になっていた事もあり、この



話をお受けしました。ここで実習の方法を追いつながら、その＜勘違い＞について話をさせてください。



実習は「デンタルチャートの作成方法」「レントゲン撮影法」「口腔内写真撮影について」の講義のあとで始まりました。今回は、警察関係の方と所属歯科医師2名以上を1つの班として、実習に参



【リリーこども＆スポーツ専門学校 介護ふくし学科生との交流実習開催】

11月28日（月）、リリーこども＆スポーツ専門学校介護ふくし学科1、2年生21名を迎え、本校主催の交流実習が開催されました。歯科衛生士科では、事前に記載して頂いた問診票をもとに、指導計画を立て実習に臨みました。口腔内観察をはじめ、印象採得したものを歯科技工士科が石膏注入、トリミングをして石膏歯列模型の製作をするなど、両科で力を合わせて実習を行いました。

また、義歯の着脱・清掃体験や本校学生が患者となったブラッシング体験などを実施しました。

どの学生も口腔ケアに対しての質問などが大変多く、口腔への関心の高さを伺うことが出来ました。



また、12月9日（金）には、リリーこども＆スポーツ専門学校主催の交流実習が開催され、本校歯科衛生士科学生が参加しました。実習は3グループに分かれて行いました。

アイマスク体験では、視覚に頼ることが出来ない為、些細な音にも不安や恐怖を感じ、日常の何気ない動作に苦勞している場面がみられました。

車椅子体験では、取り扱いの注意事項の説明を受け、障害物があるときの操作法などを再確認しました。



また、レクリエーション体験では、綱を使ったキャッチボールや手遊びを行い、皆が純粋に楽しんでいる姿が印象的でした。

利用者に恐怖や不安感を与えないためにも、介助者の支えや気遣い、声掛けの必要性をよく理解できたのではないかと思います。

今回の交流実習を通じ、指導をすることの楽しさや、伝えることの難しさ、コミュニケーションの大切さを感じたのではないかと思います。そして、多職種間での連携の重要性を再認識する良い機会になったのではないかと思います。

歯科技工士科2年生は、平成29年2月19日（日）、
歯科衛生士科3年生は平成29年3月5日（日）に
国家試験が行われます。クラス一丸となり全員合
格を目指して頑張ってもらいたいと思います。

（文責 川井）

【第20回茨城県総合リハビリテーシ ョンケア学会学術集会に参加して】

12月3日（土）、茨城県メディカルセンターに於
いて第20回茨城県総合リハビリテーションケア学
会学術集会が開催され、全校生徒（両科165名）が
参加しました。

大会テーマにもあるように地域包括ケアにおけ
る多職種連携と在宅ケアとして、摂食嚥下を中心
とした講演内容でした。

基調講演では、歯科衛生士科で薬理学の講師を
されている特定非営利活動法人日本顎咬合学会理
事長の上濱正先生（土浦石岡支部）による「噛ん
で食べることは生涯の宝物」でした。茨城県は、
海、山に囲まれ多くの食材に恵まれており、調理
法も多彩となり食事を楽しみながら、よく噛んで
食べることができるなど茨城の良さと結びつけた
ご講演をいただきました。また、ランチョンセミ
ナーでは、弁当プロジェクトの一貫として、今回
はお弁当の市販化を目指しております。この機会
を利用して頂き、弁当の試食とアンケートを実施
しました。緊張の中、今回の企画の経緯説明など
2年生が行いましたが、歯科医学会を前に貴重な
体験をすることが出来たと思います。結果につ
いて本年度歯科医学会（平成29年3月12日（日））
にて発表させていただきます。

また、市村和大先生（土浦石岡支部）による、
介護の現場による食形態の実際や、車イスでの摂
食嚥下また、間違った使用法で誤嚥性肺炎になる
ことなどを学ぶことができ、学生自身もこれから

歯科専門職として正しい知識をより深く理解し、
多職種と連携をすることの意義を学べたことと思
います。

さらに、学会に参加したことでモチベーション
に変化が見られたとともに、医療チームの一員に
なることの大切さを理解できたと思います。

今回このような機会を与えて頂きましたことを
感謝申し上げます。

（文責 庄司）

【茨城大学教育学部附属中学校実習】

12月14日（水）茨城大学教育学部附属中学校に
於いて、歯科衛生士科3年生の歯科保健指導実習
が行われました。今年で3回目となるこの実習は、
学生にとって今まで積み重ねてきた総まとめとな
る最後の実習です。

対象は附属中学校1年生158名で、学生は事前に
担当する生徒さんのカルテをもとに指導計画案を
練りました。思春期というこの時期にある中学生
を相手に、どのような歯科保健指導やブラッシング
指導ができるであろうかと不安を抱えながら実
習の時を迎えました。



実習は、1人の学生が1名から2名の生徒さん
を担当する個別指導の形で行いました。まず最初
に、学生が生徒さんに質問しながらアンケート記

入をしてもらい、コミュニケーションを図ることにより、更に詳しい情報を得ることができました。続けて染め出し、ブラッシング、歯科保健指導と進めていき45分の授業時間はあっという間に過ぎていきました。ある程度口腔内の状況や生活習慣等を予想はしていましたが、中学1年生という対象相手に、今までとは違う歯科保健指導の難しさを感じた様でした。女子生徒との実習では、姉妹のように楽しく会話が弾んでいる様子や、また反対に静かな反応に戸惑う様子などそれぞれ違った学生の表情が見られました。一方、男子生徒との実習では、なかなか会話が進まず苦労したり、元氣いっぱいの行動に圧倒されるなどの様子が伺えました。それでも全体を通して、1人1人が一生懸命に取り組む姿に、今までの幼稚園、小学校での実習、また成人や母子歯科保健指導実習に今回の実習が新たに加わることで今後の臨床に生かされることと強く感じました。



実習終了後のアンケートで中学生からは、とても楽しかった、ブラッシングの大切さがわかった、またこのような機会をもちたい等、嬉しい感想を頂いて、学生も3年間の実習の総まとめとして達成感があったのではないかと思います。

(文責 根目沢)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会



癒されること

(社)茨城西南歯科医師会 坂井 敏修

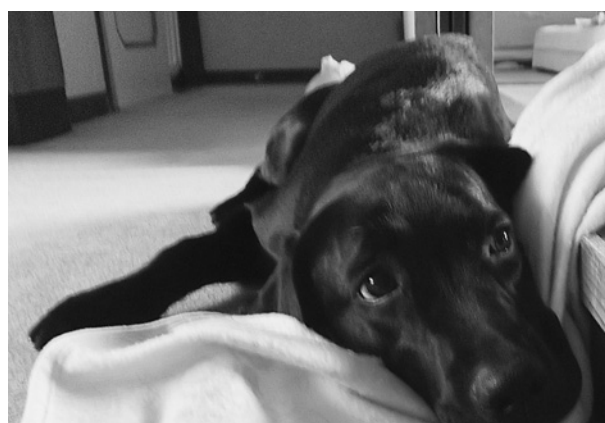
明けましておめでとうございます。医局の先輩である杉先生から、リレー通信頼むと電話がありました。突然でしたが「承知しました。」と快諾したのはいいのですが、さて何を書いたらいいものか、これといって自慢できる趣味があるでもなしと思ひ悩みました。ちょうど一年前に「申年の年男」で会報にUSAのウォルト・ディズニー・ワールド（WDW）に行ったことを書かせてもらいました。あそこは本当に別世界で、歩いているだけで癒されます。残念ながら去年はWDWに行けなかったもので、東京ディズニー・リゾートをウロウロしてました。個人的に気に入っているのは、東京ディズニー・シーのリニューアルされたビッグバンドビートです。なかなか観るのが大変で、一階席は抽選、二階席は長時間並ばなければなりません。並んで待つ事が嫌いな私は抽選するのですが、今のところ6戦5勝です。たった1つのはずれは、私が抽選した結果です。後は家内がすべて当てました。観た方はご存知だと思いますが、一流の演奏と踊り、パフォーマンスは何度観ても飽きません。特にミッキーマウスのドラム演奏は目を見張るものがあります。これが観られた時は満足感でいっぱいになります。ディズニーに興味のない方も、ショーとして一見の価値があると思います。食事はホテルミラコスタのテラスルームのテラスで食べる、ルームサービスのディナーです。超贅沢ですが、食事をしながら見えるディズニー・シ



ーの夜景、テラスから観るファンタズミック、こんなことして罰が当たるんじゃないかと思いますが、一生懸命働いているからたまにはいいかなと。自分と家内へのご褒美だと納得させています。こういった現実逃避の世界から自宅に帰ると、我が家には黒のラブラドル・レトリバー（通称黒ラブ）が待っています。名前はジェスといいます。こいつがいたずら小僧で、今までに電話機を破壊、テレビのアンテナ線の切断、マッサージチェアーのコードの切断、エアコン、ビデオのリモコンの破壊とビックリするほど壊されました。今のは6代目の犬ですが、同じ黒ラブでもこんなに性格が違いかと今更ながら驚かされました。ワクチンが終わり散歩が解禁になった頃、ラブラドルに多い股関節形成不全の症状が出て、左後ろ足を地面に着ける事が出来ず、びっこを引き、痛みからか

食欲もなくなり、餌にふりかけをかけたり、鎮痛剤を混ぜたり、サプリメントを入れたり色々やりました。獣医は徐々に筋肉が付けば問題ないと。ただ歩き方が若干モンローウォークっぽくなるかなと言われました。今では朝5時前から散歩に行き、庭を走り回ってます。夏の暑いときは井戸水のプールに飛び込み、暑くなった身体をシャキーン！とさせてまた走り、餌をペロッとたいらげ、牛のアキレスを歯ブラシ代わりに食べます。しかしこんな真っ黒のやんちゃなラブですが、私の後をチョコチョコついて歩いて見上げる顔がとても可愛く、ソファで私の体にアゴをのっけて上目づかいにジーと見ている姿に癒されて、何か疲れが取れる毎日を送っています。

次は境町の鈴木哲之先生をお願いします。



レディース no.193

勝田マラソン

(社)鹿行歯科医師会 田崎 泰子

リレー通信で、フルマラソンや、トライアスロン等すごいと思う戦歴の方々を拝見しますが、私は、友人に誘われ、10年前からささやかに10kmマラソンを走っています。

主に勝田マラソンで、初めて参加した時は勝田駅の改札を出るとすぐ「君よ勝田の風になれ」の音楽が流れボランティアの人びとの会場への案内にもうこんな所からも勝田マラソンは、始まっているのだと感激しました。

スタートは、カラフルなウエアーが道路を埋め尽くす8000人強の大変な混雑で、ころばないように、ころばないようにと念じながら、号砲とともに走りだします。途中若い人に抜かれるのはしょうがないと思うけど、明らかに自分より年上やコスプレ女子に抜かれると、「こりゃーまずいわ。」とスピードをあげます。遥かかなたを走っている人びとの姿をみると、まだまだ、先が長い。

ちょっと疲れると、沿道の人びとの応援の声がかかります。片手を挙げたり、ぬいぐるみにハイタッチしたりしていると、もう折り返しをすぎた先頭集団の高校生が、怒涛のごとくあっという間に通り抜け、いやー速い速い、思わず応援します。高校生ランナーから元気をもらい、上りもスイスイ走ります。友人が、「10kmは、給水は、なし、なし」と言うので、タイム節約の為、給水も取らず、ひたすら走り続け、ゴール間近になり、ラストスパートをかけようとしたら、救急車が、出勤していたので私も運ばれてしまっはみっともないとセーブしたら昨年より少々タイムが遅くなってし



まい残念でした。

普段もそこそこ走ってはいるのですが、なんといっても大会に参加するとモチベーションがあがります。昨年の日立のハーフマラソンでは時期がぴったり合い、花びらがひらひら舞う満開の桜の下を走り、これまた感激しました。

沿道の声援を受けながら、さっそう？と勝田の風になり、新春のひたちなかを駆け抜けるのは爽快です。老骨に鞭打ってという感じではありますがもっと早くから、初めていれば………と思います。皆さん、趣味は若いうちから始めましょう。



厚生労働大臣表彰

小林 一彦先生（筑西市）

先生は、永く社会保険審査業務に携わり、社会保険事業の円滑な運営に寄与された功績により、10月18日（火）に厚生労働省講堂において、厚生労働大臣より表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



厚生労働大臣表彰

中島 利雄先生（筑西市）

先生は、多年にわたり、歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のために尽力された功績により、12月10日（土）、宜野湾市で開催された全国歯科保健大会の席上、厚生労働大臣より表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



日本歯科医師会会長表彰

森永 和男先生（水戸市）

先生は、昭和49年から現在まで41年間にわたり、地域の歯科医療に従事し住民の歯科保健の向上に尽力された功績により、12月10日（土）、宜野湾市で開催された全国歯科保健大会の席上、日歯会長より表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



昨年、いつもお世話になっていた、そして大好きだった菱沼先生が急逝された。その心の傷が未だ癒えずにいるところに追い討ちをかけるような悲しい出来事が新年早々起こった。「スマホの水没」…普段入れたことのない胸ポケットに入れたのが運の尽き。ちょっと屈んだら水が貯まった洗面台に見事にDive〜(°ロ°;)ノ。「なにー!？」慌てて救出すも充電用のmicroUSBが生憎破損中(´д`!!!)。そこからあつという間に水が侵入。頑張って水分吸いにとってドライヤーで乾かして、そのあとは乾燥剤でくるんでおこたの中に。イヤホンジャックにイヤホンを挿せばDL済みの音楽は聴ける、充電ランプは点灯している、LINEを送信すると受信反応はある、だが液晶が最後の断末魔的に一度点灯してからは消灯。そう、液晶死亡(T_T)。だから、データは残っていても抽出が出来ない(>_<)。おまけにcloudバックアップは数日前に失敗している通知を受けていた。あとは、最後の頼みの綱の「micro SD様」。携帯ショップで新スマホを購入していざ挿入!!

「・・・」「マジか!？」……こちらも死亡。「なんて日だ!いや、なんて事だ!？」アドレスなんて連絡くれた人から徐々に追加してけばいい。おサイフケータイも手順を追えば引き継げる。だけど……。菱沼先生とのLINEのやりとり。一緒に飲んだりしたときの写メ。すべて失った。もちろん、菱沼先生を慕っていた吉田勝幸先生にも怒られた。よく飲みながらバカをやってる写メを撮る菱沼先生に、「記録に残さなくていいから、記憶にだけ残してください!」って言ってましたが、やはり、記録にもしっかり残せるようにしとくべきですね。

沼兄ィ、ごめんなさいm(____)m

(コバ)

2017年が始まりました。ここ数年良い事悪い事を含め驚くような出来事が頻繁に起きている気がします。よくよく考えてみるとそれほど昔と変わりないのかもしれないけれど。今年はもう少し落ち着いた良い年になってほしいと思います。私自身も今年の正月は病室で迎える事になり、何となくマイナスからのスタートとなり、気分が沈んでいたのもそんな風を感じたのかもかもしれません。昨年末から今年にかけて、人生初の2週間入院生活、全麻によるオペとなってしまう、確実に老化現象が進行していると実感しました。なんの取り柄もないのですが、唯一体力だけはと、根拠のない自信をもっていたのに。いとも簡単に崩れ去り、まさに根拠のないことが証明されてしまいました。新年はリハビリからのスタートとなりました。いい経験としてとらえたいと言いたところですが、二度としたくない経験であり、健康を維持するのは難しいと思い知らされました。

(生る)

菱沼先生が急逝されてしまいました。まだまだ色々ご指導を受けたかったのに、本当に残念で、信じられない気持ちで一杯です。先生はとても人情に厚く、面倒見もよく、貫録もあり、私より10歳くらい年上に見えました。先生はもう何年も前ですが、3地区対抗ボウリング大会の宴会の席で、

景品のギターでレッドツェッペリンの「天国への階段」をつま弾いていましたよね。「娘がエレキギターを始めたので、一緒に弾くのが楽しみで、将来はバンドを作りたい」と言っていたのをよく覚えています。先生は学生時代、軽音楽部に所属していたそうで、「好きなミュージシャンは誰？」と聞かれたこともあります。そのうち一緒にセッションでもできたらいいなと思っていたのですが、それも叶わなくなってしまうしました。もし先生とセッションするなら、先生だったらレッドツェッペリンの「ハートブレイカー」、「ロックンロール」あたりでしょうか？ 去年のエリッククラプトンの来日の時は、行けなくて悔しがっていましたよね。この前の私のライブでは、先生への思いを込めて、エリッククラプトンの「Tears in heaven」と「Change the world」を演奏させていただきました。

先生だったら「クロスロード」「いとしのレイラ」、「コカイン」あたりを洪い声で歌いながら弾くのでしょうか。先生の様な髭をたくわえた容貌なら、ストラトもレスポールもきっとお似合いでしょうね。目に浮かんできます。私も先生に負けないようにギターを練習したいと思います。1月末にはジェフベックが、4月末にはポールマッカートニーが来日します。先生もきっと会場に観に行くだろうと思います。きっとかぶりつきの特等席で観るのでしょうか。うらやましい限りです。この前、ふとラジオから薬師丸ひろ子さんの「戦士の休息」が流れてきました。私はこの曲が大好きで、この曲を聴いて先生の事をふと思い出してしまいました。菱沼先生、色々とうもありがとうございます。

(勝)



みんなの写真館

Photo
Gallery



大洗磯前神社

(社)茨城県南歯科医師会 星野浩伸

会 員 数

平成28年12月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	157 +2
東西茨城	73
鹿 行	105
土浦石岡	172
つくば	122
県 南	177 +2
県 西	154 +2
西 南	106
準 会 員	1
計	1,328 +6

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,155名
2種会員	40名
終身会員	132名
準会員	1名
合計	1,328名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 29 年 1 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。